

令和7年度 第4回 関東地方整備局事業評価監視委員会 審議結果

1. 日 時 令和7年10月27日(月) 10:00～11:15
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館14階「災害対策本部室」
3. 開催方式 対面・Web 会議併用
4. 出席者

[委員長]

久保田 尚 (埼玉大学名誉教授・日本大学客員教授)

[委 員]

朝日 ちさと (東京都立大学都市環境学部都市政策科学科教授)
小笠原 正豊 (東京電機大学未来科学部建築学科教授)
清水 繁 (東京商工会議所地域振興部長)
鈴木 崇之 (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授)
竹内 智子 (千葉大学大学院園芸学研究院准教授)
原 珠里 (東京農業大学国際食料情報学部国際食農科学科教授)
二村 真理子 (東京女子大学現代教養学部経済経営学科教授)
若井 明彦 (群馬大学大学院理工学府環境創生部門教授)

(敬称略、五十音順)

[特別委員]

小根山 裕之 (東日本高速道路株式会社事業評価監視委員会委員)
原田 峻平 (中日本高速道路株式会社事業評価監視委員会委員)

[関東地方整備局]

局長 橋本、副局長 森、副局長 増田、企画部長 田中、道路部長 河村、環境調整官 森

[東日本高速道路株式会社]

建設事業本部副本部長 兼 建設部長 加藤、関東支社長 松坂、関東支社建設事業部長 宮野

[中日本高速道路株式会社]

建設企画本部建設企画部長 塩梅、東京支社長 荒井、東京支社建設事業部長 古田

5. 審議結果

1) 再評価

- ・対応方針（原案）の審議（全2件）
- ・事務局が説明した再評価対象事業2件は、対応方針（原案）の通り了承された。

<評価対象事業>

事業区分	事業名	事業主体	対応方針 (原案)	審議 結果	委員からの主な意見
道路	一般国道6号 酒門町交差点立体	関東地方整備局	継続	了承	・特になし。
道路	東京外かく環状道路（関越～東名）	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社	継続	了承	・首都圏三環状道路は、首都圏の経済や生活を支える重要な基幹インフラであり、東京外かく環状道路（関越～東名）は、再発防止対策等を徹底し、安全確保を最優先とした上で、1日も早い開通・供用開始が望まれる。 ・陥没空洞事故を受けた地域住民への説明や、事故の再発防止に対する技術的な課題に対して、対応や検討ができていることを確認した。 ・各事業の特性を踏まえた、多様な経済効果などの把握手法について、検討いただきたい。 ・前回の付帯意見への対応は、陥没事故への対応にも該当することから、引き続き行うものとし、原案通り了承とする。 【前回（R2）付帯意見】 ① 早期の完成と供用に努めること。 ② コスト縮減を徹底するとともに、事業費増の要因を分析し、厳格なコスト管理を行うこと。 ③ 事業進捗について、定期的に関係自治体と共有するなど引き続き事業の透明性を高めること。 ④ 事業の必要性や現場で行われている事業の工夫などを社会一般に知ってもらえるよう、わかりやすい情報発信を行うこと。